

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 10 月 27 日 (2011.10.27)

【公開番号】特開 2010-258918 (P2010-258918A)

【公開日】平成 22 年 11 月 11 日 (2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2010-045

【出願番号】特願 2009-108556 (P2009-108556)

【国際特許分類】

H 0 4 W 36/06 (2009.01)

H 0 4 W 40/02 (2009.01)

H 0 4 W 80/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 0 5

H 0 4 Q 7/00 3 4 1

H 0 4 Q 7/00 6 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 13 日 (2011.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リレーノードと第 1 無線基地局とが無線ベアラを介して接続されており、該第 1 無線基地局と第 2 無線基地局とが接続されている移動通信システムであって、

前記 2 リレーノードは、前記第 1 無線基地局との間の U n インターフェイスを設定するための無線ベアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている M A C レイヤ機能と、該 M A C レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R L C レイヤ機能と、該 R L C レイヤ機能の上位レイヤとして設けられている P D C P レイヤ機能と、該 P D C P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R R C レイヤ機能とを具備しており、

前記リレーノードは、前記無線ベアラ機能の上位レイヤ機能として、I P レイヤ機能と、該 I P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている S C T P レイヤ機能と、該 S C T P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている X 2 A P レイヤ機能とを具備しており、

前記第 1 無線基地局は、前記リレーノードとの間の U n インターフェイスを設定するための無線ベアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている M A C レイヤ機能と、該 M A C レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R L C レイヤ機能と、該 R L C レイヤ機能の上位レイヤとして設けられている P D C P レイヤ機能と、該 P D C P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R R C レイヤ機能とを具備しており、

前記第 1 無線基地局は、前記無線ベアラ機能の上位レイヤ機能として、I P レイヤ機能と、該 I P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている S C T P レイヤ機能と、該 S C T P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている X 2 A P レイヤ機能とを具備しており、

前記第 2 無線基地局は、X 2 A P レイヤ機能とを具備しており、

ハンドオーバー処理に係る制御信号は、前記リレーノードの X 2 A P レイヤ機能と前記第

1 無線基地局の X 2 A P レイヤ機能との間、及び、前記第 1 無線基地局の X 2 A P レイヤ機能と前記第 2 無線基地局の X 2 A P レイヤ機能との間で終端するように構成されていることを特徴とする移動通信システム。